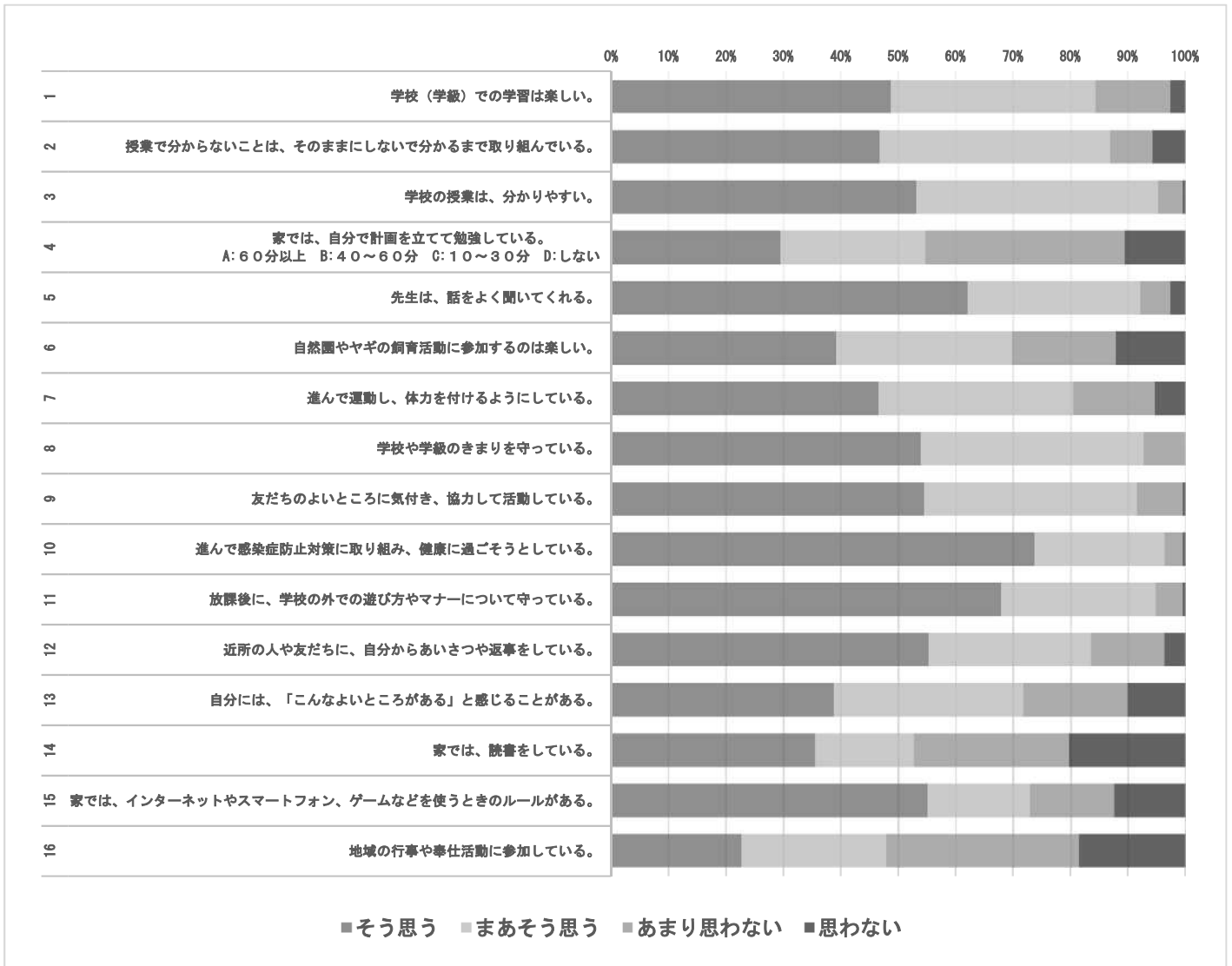


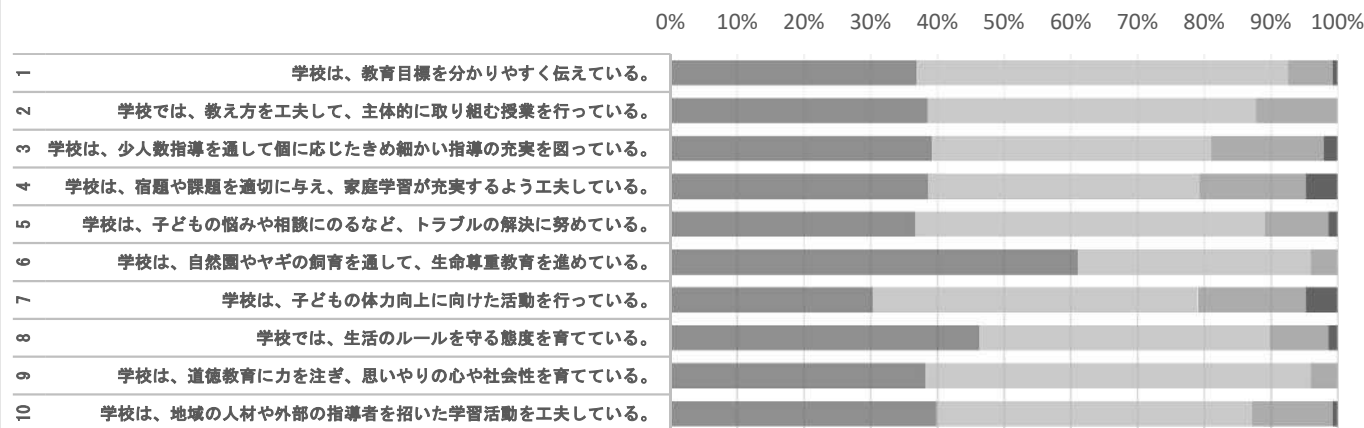
保護者、地域の皆様におかれましては、お忙しい中、本校の学校評価にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。いただきましたご意見を基に来年度の教育課程を作成し、子どもたちのために豊かな教育活動が実践できるよう努力して参ります。

児童アンケート集計結果

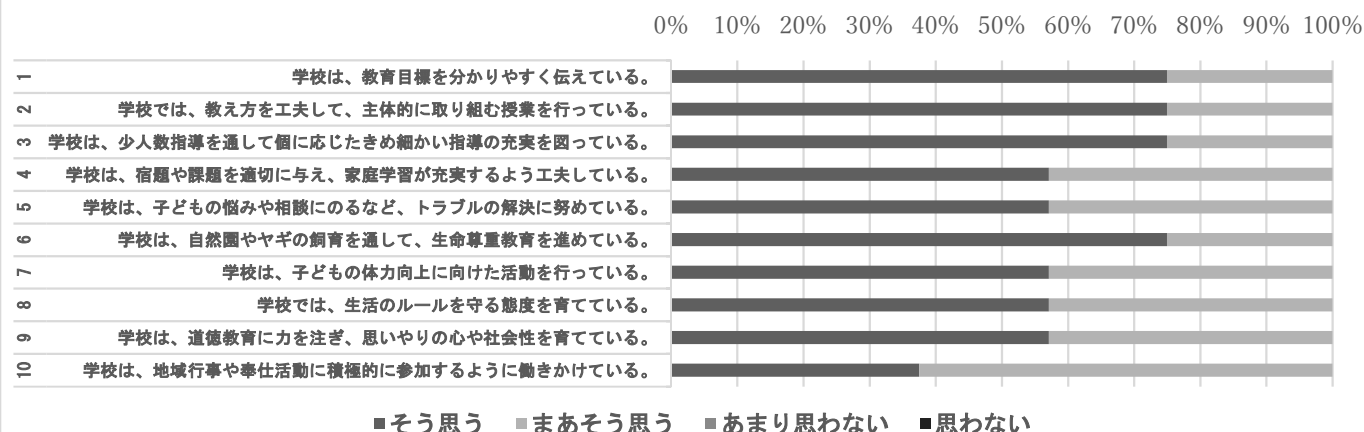


- ・ 16項目中10項目で80%以上の肯定的な評価となった。特に、③⑤⑧⑨⑩⑪については90%以上の高い評価となった。
- ・ ③については、校内研究の成果や少人数指導の実践、また ICT 機器の有効活用等の成果が見られる。
- ・ ⑨については、授業において互いの違いを認め合い、よさを見出す場面を設定してきた成果と捉える。
- ・ ④については、10～30分学習している児童の割合が最も多い。高学年については、塾等の習い事をしている児童とそうでない児童との間に差が見られている。家庭と連携しながら ICT 機器の有効活用や、家庭学習の内容の精選を行いながら家庭学習の習慣づくりと質の向上を図ることが必要である。
- ・ ⑫⑬については、学習の中だけではなく、普段の学校生活の中でも互いに関わり合う働きかけを行い、互いのよさを認め合えるような活動をさらに工夫していく必要がある。
- ・ ⑭「家では、読書をしている」という肯定的な回答が50%であった。保護者アンケートでも50%となっており、課題が見られる。学校でも読書に触れる時間を確保し、本を読むことが楽しくなるような学習活動を取り入れながら、家庭と連携して読書活動に取り組む必要がある。
- ・ ⑯「地域の行事や奉仕活動に参加している」では、肯定的評価が40%であった。保護者アンケートでも50%であった。コロナ禍で地域の行事が縮小されたり、中止になったりしている影響が考えられる。地域と連携した取組を工夫し、滝野川のまちの魅力を学ぶ教育活動を工夫していく必要がある。

学校の取組に関して（保護者）

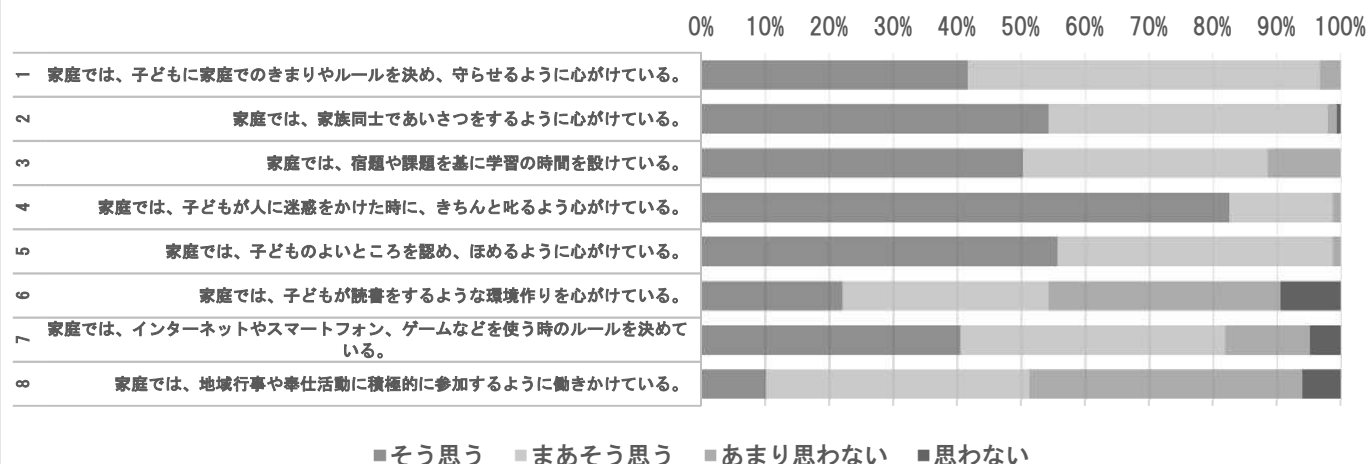


学校の取組に関して（評議員）



- ・保護者アンケートで10項目中8項目、評議員アンケートでは10項目で80%以上の肯定的な評価を得た。
- ・③では、95%の高い肯定的な評価を得た。日頃から丁寧に授業を行ってきた成果を認めていただいた結果である。
- ・⑥では、ユリの飼育活動が本校の特色として、保護者にも認めていただいている結果である。
- ・④と⑦では、他項目より低い結果となった。④については、家庭学習が充実するようにICTを有効活用したり、学年の実態に応じて内容を精選したりしながら、学習内容の定着が図れるように工夫していく。⑦については、コロナ禍やリノベーション工事による行動制限等の影響が考えられる。制限のある中でも工夫した活動が行えるよう教育活動を工夫していく必要がある。

家庭の取組に関して（保護者）



- ・8項目中6項目で80%以上の肯定的な評価を得た。
- ・⑥と⑧では、肯定的な評価が50%である。⑥については、学校でも読書に触れる時間を確保し、本を読むことが楽しくなるような学習活動を取り入れながら、家庭と連携して取り組む必要がある。⑧については、コロナ禍で地域の行事が縮小されたり、中止になったりしている影響が考えられる。地域と連携した取組を工夫し、滝野川のまちの魅力を学ぶ教育活動を工夫すると共に、地域の皆様と取り組む機会を活用して、多様な経験を促したい。